

伊豆半島を走つて

2年 空海一夫

二学期のテストも終り 暇になったので 間

東在任の仲間、例によつて 鈴木・栗原・僕・(幾)

念ながら 金谷は来れなかった。のろ人と岩隈氏

とで 伊豆へ行った。コースの概要は一日目は沼津

から西海岸右いに松崎まで、二日目は松崎から

石廊崎、下田に至りて河津まで、三日目は河津か

ら修善寺まで、四日目はサイフルスポートセン

ターで遊んで宇佐美(東海岸)までである。

一日目は天候に恵まれません。午後は小雨が降

り、計画の無理もあって暗くなった。たゞ、YH

めとして走る事になつてしまつた。しかレ、

西海岸はまた 観光地化されていなくて道も一

部未舗装であつたりして 伊豆の魚村の粗ぼ

くさを味わえる 良いコースであつたと思われ

る。伊豆半島を周るなつて西海岸も走

てほしい。

二日目は 天気も晴れて サイクリングには

絶好の日となつた。マシカレントラインは等高

線を完全に無視して作つたような所もあり 海

岸線を走る所はほとんどない。峠で立ち止ま

ると海の向こうに富士山が見えて景色のよい所

もあるが 走るのに精一杯で景色どころではな

いといった感だ。石廊崎は多少俗っぽいが

奥石廊崎は実にいい所だ。濃青色の海水に

有怪形形の岩や小島が浮かんでゐる。午後は

石廊崎から下田へ海沿線沿いに走ったが、二
で世にも恐ろしい事態がおこる。なんと走行中
に犬が飛び出し、先頭の栗原にかみつりた。た
辛い傷は大したことがなかったが、それ以来犬恐
怖症になり、肴合酒でも犬に追いかけられ怖さ
冷した。そこで犬の追払い方を言つと、足でも
つけてけうなどせず、直ぐついてきたら大声をこ
なつておどかしてやるに限る。犬も意外に懐病
がから飛んで逃げていくこと間違いない。二
日目は予定通り河津から少し山奥に入った。H
に泊った。

三日目は天崎峠を旧道を使って挑戦した。鈴
木は急なシヤリ道をインナータイヤに登ったの
でからすこいもんだ。旧道はハイキニクコース
に変わっていて走りにくいから山道の雰囲気は味方

えて指定ルートコースだ。二で若根氏と合流し
天城トニネルを至て修善寺まで爽快な下り
のみ。修善寺のそばの修善寺はバスが二台。た
丘の頂上にあるのがた手に傷めて所である。

四日目は道を誤まること二回、ヤットの事で
サイクルスポーツセンターに到着した。設備が
まぐ一度は行くべき所だと思つた。その400ピ
トの30度バンクは恐ろしかった。時間と金が
かつたので全部のコースを乗り回せるかつたか
ら、K11コースを走れば満足するつもり。取れ
たので帰路に向つた。僕等は、宇佐美に行く途中
で若根氏のドシる事故を見た。若根氏白く、「僕
は必ず一日のツーリングを一回は乗っ取るのだ」
伊豆を走り終えて一着感した。これは一言で言う
と、半島は山であると思つた。以上